

大郷町地域公共交通計画について

1. 計画策定業務委託業者の選定（公募型プロポーザル方式）について

(1) スケジュール

期 日	内 容
5月12日	公募開始
6月2日	参加申込書及び企画提案書等提出期限
6月9日	選定委員会の開催
6月10日	審査結果通知
6月11日～25日	契約締結に向けた事前協議
6月30日	見積書提出
7月6日	契約締結

(2) 6月9日選定委員会の結果

参加者（審査順）		評価点（合計）
1	日本工営都市空間株式会社仙台支店 (支店長 澤田 善典)	330 点
2	中央コンサルタンツ株式会社仙台支店 (執行役員支店長 長太 正人)	365 点
3	株式会社ケー・シー・エス東北支社 (支社長 熊谷 慶一)	407 点
受託候補者	株式会社ケー・シー・エス東北支社 支社長 熊谷 慶一	

※評価基準及び配点 評価点合計500点（選定委員会委員5名×評価点100点）

2. 契約について

(1) 契約相手 仙台市青葉区本町1-11-2
株式会社ケー・シー・エス東北支社 支社長 熊谷 慶一

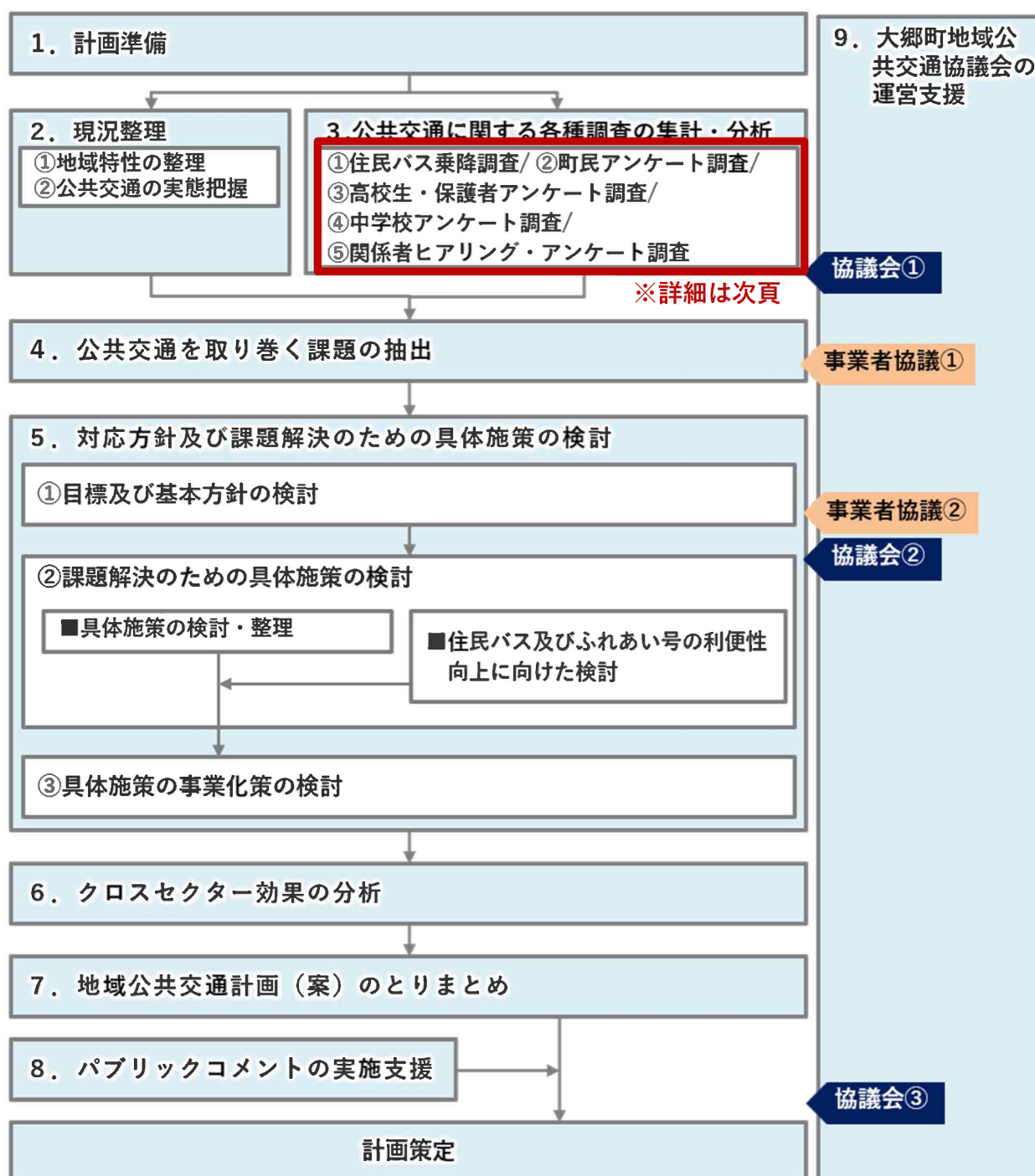
(2) 契約金額 6,732,000円（うち消費税の額612,000円）

3. 計画策定に向けた進め方について

・7月14日 第1回打合せを実施

【内容】業務計画書について、各種調査の進め方について

計画の策定に向け以下のフローに沿って実施します。



(1) 各調査の内容・依頼事項について

1) 町民アンケート調査結果の分析

○昨年度町が実施した調査の結果をもとに、町民の日常生活（通勤・通学・買い物・通院）における移動実態や公共交通の利用実態等を整理します。

○また、本調査では、新たな移動手段に対する導入意向を把握していることから、年齢や日常の公共交通利用の有無などでクロス集計を行い、具体的なターゲット像について検討・整理します。

項目	把握項目	分析内容
日常生活の移動実態	・買い物・通院における移動実態（行先・頻度・移動手段など）	・移動目的別の行先と居住地（4地域）及び年代のクロス集計から施設別に集計し、特に移動量に応じてサービス利便性の検討材料として活用
公共交通の利用状況	・買い物・通院における公共交通の利用有無	・買い物や通院時における利用した交通手段と年代のクロス集計から、どの属性が交通サービスを利用しているか把握 ・買い物や通院時における利用した交通手段と運転免許保有状況別のクロス集計から、運転免許返納後の移動手段として交通サービスがどの程度利用されているかを把握
共同タクシーに対する意向	・共同タクシーの利用意向 ・希望する料金	・共同タクシーの利用意向と年齢のクロス集計を行い、どの年代が共同タクシーを利用するか割合を把握し、サービス内容の検討に活用
個人属性	・年齢・居住地・家族構成 ・公共交通に関する情報の取得方法	・属性による回答傾向の分析に活用 ・クロス集計に活用

2) 住民バス乗降調査結果の分析

○昨年度町が実施した調査の結果をもとに、時間帯別・バス停別の利用実態の整理を進め、町内における利用実態を把握します。

項目	内 容
使用データ	・住民バス乗降調査結果元データ
分析方法	・便別利用者数、バス停別利用者数

3) 高校生・保護者アンケート調査

○高校生等の通学実態を把握するため、町内に居住する高校1・2年生（15歳～17歳）とその保護者を対象としたアンケート調査を実施します。

調査項目	調査概要
調査対象	・町内に居住する高校1・2年生（15歳～17歳）とその保護者
調査方法	・郵送（8/7 発送予定）配布・オンラインによる回収

調査項目		調査概要	
設問 設定 設問 設定 (案)	通学実態	把握内容	・登下校時間、移動手段（天候別の移動手段、隣接自治体の公共交通との乗継実態） ・公共交通の利用実態（利用した公共交通、乗降場所） ・公共交通を利用しない理由、改善要望
		設問意図	・居住エリア別・通学先別・天候別・部活動の有無別に集計し、通学実態に対するサービスの提供状況から既存交通サービスの見直し（起終点・経由地・乗継先・ダイヤ）検討に活用
	基本属性	把握内容	・学年、居住地、通学先、部活動の有無 ・学校選択における公共交通の影響 ・高校生活における公共交通の影響
		設問意図	・学校選択に伴い新たに生じる通学需要への対応を検討 ・公共交通が学校生活に与える影響を踏まえ、移動機会の確保範囲を検討
	通学時の送迎実態	把握内容	・送迎の有無と経済的・身体的な負担（定期支払額の確認等）
		設問意図	・居住エリア別や通学先別に集計し、送迎の負担軽減方策の検討に活用
	個人属性	把握内容	・年齢・居住地・家族構成 ・公共交通に関する情報の取得方法
		設問意図	・属性による回答傾向の分析に活用 ・クロス集計に活用

4) 中学校アンケート調査

○現状・将来の高校への進学状況等を把握・検証するとともに、高校通学時の交通手段に関する指導内容や、公共交通サービスが指導に与えている影響、スクールバス運行上の問題点等を把握するため、町内の中学校（担当教諭が回答）を対象としたアンケート調査を実施します。

調査項目		調査概要	
調査対象		・大郷中学校	
調査方法		・メール	
設問 設定 (案)	通学実態	把握内容	・登下校時間、移動手段（天候別・部活動別の移動手段） ・公共交通を利用した通学に対する意向
		設問意図	・天候別・部活動の有無別に集計し、通学実態に対するサービスの提供状況から既存交通サービスの見直し（起終点・経由地・乗継先・ダイヤ）検討に活用
	進路指導	把握内容	・公共交通が進路先の選択肢に与える影響の有無、進学先の通学手段のアドバイス（送迎・住民バスの活用など）
		設問意図	・学校選択に伴い新たに生じる通学需要への対応を検討
	その他	把握内容	・在校生徒数（学年別） ・スクールバス運行上の問題点・課題 ・スクールバスの一般混乗やスクールバスから公共交通への切り替えを想定した場合の懸念点

調査項目		調査概要	
		設問意図	・スクールバス運行上の問題点の把握や公共交通への切り替えを検討する際の制約条件を把握

5) 関係者ヒアリング・アンケート調査

- ふれあい号・スクールバスの利用状況の把握や、今後のあり方に対する考え、公共交通サービスとの連携の可能性を把握するため、庁内関係課（保健福祉課・学校教育課）に対するヒアリング調査を実施します。
- また、町内の移動サービスの運行体制や経営上の課題、今後のサービス対応の継続可能性等を把握するため、事業者（おおさと地域振興公社、朝日観光、中川観光バス、アスカ観光バス、塩釜観光バス）を対象としてヒアリング調査を実施します。
- 加えて、町内の今後の公共交通サービスの運行体制の検討材料の一つとするため、他市町村の交通事業者における参入の可能性や、委託する場合の対応の可能性・条件等について確認するために、バス協会やタクシー協会を通じたアンケート調査を実施します。

調査項目		調査概要
調査対象		■ヒアリング調査 ・保健福祉課、学校教育課、おおさと地域振興公社、朝日観光、中川観光バス、アスカ観光バス、塩釜観光バス ■アンケート調査 ・宮城県バス協会、宮城県タクシー協会（大崎支部、塩釜支部）
調査方法		■ヒアリング調査 ・対面での聞き取り形式 ■アンケート調査 ・メール又は FAX による配布・回収
設問設定 (案)	おおさと地域振興公社、朝日観光、中川観光バス、アスカ観光バス、塩釜観光バス	・運行体制（運転者数・車両台数・営業区域）、経営上の課題、現状の公共交通の運行面・運営面の問題点、サービス拡大を図る場合の意向（運行体制・競合等）、今後の取組 等
	宮城県バス協会、宮城県タクシー協会	・町内の公共交通に対する事業協力の確認（運行管理、車両整備管理、担い手の協力など） ・当町に事業所を設置する場合の条件（立地、営業規模など）等
	庁内関係部署	■福祉分野（保健福祉課） ・福祉分野で移動に関する支援策の有無及び実施状況 ・公共交通との連携について ■教育分野（学校教育課） ・スクールバス等の運行ルート・運行時間・一般利用者との混乗等 ・公共交通に関する教育実態（乗り方講座、公共交通利用の意識づけ等） ・公共交通との連携について

(2) 計画改定に向けた工程表

内容	令和8年												令和9年																	
	6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1. 計画準備																														
2. 現況整理																														
①地域特性の整理																														
②公共交通の実態把握																														
3. 公共交通に関する各種調査の集計・分析																														
①町民アンケート調査																														
②住民バス乗降調査																														
③高校生・保護者アンケート調査																														
④中学校アンケート調査																														
⑤関係者ヒアリング・アンケート調査																														
4. 公共交通を取り巻く課題の抽出																														
5. 対応方針及び課題解決のための具体施策の検討																														
①目標及び基本方針の検討																														
②課題解決のための具体施策の検討																														
■ 具体施策の検討・整理																														
■ 住民バス及びふれあい号の利便性向上に向けた検討																														
③具体な再編案の検討																														
④具体施策の事業化策の検討																														
6. クロスセクター効果の分析																														
7. 地域公共交通計画（案）のとりまとめ																														
8. パブリックコメントの実施支援																														
9. 大郷町地域公共交通協議会の運営支援																														
①大郷町地域公共交通協議会																														
②交通事業者協議																														
10. 打合せ協議																														
11. 報告書作成																														

工期：令和9年3月31日